

# 仕 様 書

- 1 業務年度及び業務番号 令和2年度 管委 第29号
- 2 業務名 南別館分館（仮称）アスベスト含有調査業務
- 3 業務場所 旧和歌山税務署（和歌山県和歌山市湊通丁北1丁目1番4）
  - ・本館 構造：RC3階建て 延床面積：1,981.35㎡（昭和46年建築）
  - ・新館 構造：S2階建て 延床面積：589.25㎡（平成13年建築）
  - ・自動車車庫等 構造：CB1階建て 延床面積：142.8㎡（昭和46年建築）
  - ・倉庫 構造：RC1階建て 延床面積：60㎡（昭和58年建築）
- 4 業務内容
  - (1) 分析を行う者の資格

アスベスト含有分析を行う者は、公益社団法人日本作業環境測定協会が実施する「石綿分析技術評価事業（石綿分析に係るクロスチェック事業）」により認定されるAランク又はBランクの認定分析技術者とする。
  - (2) 分析内容

アスベスト含有分析

採取した試料を主材と下地調整材に分けて検体を作成し、検体毎にアスベスト定性分析及び定量分析を実施する。（定性分析によりアスベスト含有「無」と判定された検体については、定量分析は行わず、減額精算する。）

ア アスベスト定性分析は、下記の分析方法とする。  
JIS A 1481-2：2016  
（試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法）

イ アスベスト定量分析は、下記の分析方法とする。  
JIS A 1481-3：2014  
（アスベスト含有率のX線回析定量分析方法）
  - (3) 分析予定検体

16 検体（建物1棟につき3ヶ所から別々に試料を採取し、それらを一まとめにして1検体とすること。）

(4) 報告及び提出物

別添の「建築用仕上塗材のアスベスト含有調査業務実績報告書」を3部作成し、提出すること。

また、報告書の添付書類は次のとおりとし、JIS A 1481-2:2016 の附属書 C 及び JIS A 1481-3 : 2014 の附属書 C の様式に則した内容として報告すること。

ア 定性分析結果報告書（アスベストの種類を記載）

イ 定量分析を行った場合、定量分析結果報告書（アスベスト含有率を記載）

- 5 委託期間 契約締結の日から令和2年8月14日（金）までとする。  
ただし、アスベストの有無については定性分析実施後、速報として報告すること。

6 留意事項

- (1) 業務を完了した時は直ちにその旨を報告し、発注者の検査を受けなければならない。
- (2) この仕様書に定めのない事項については、必要に応じて受託者と発注者が協議のうえ定めるものとする。

報告様式

令和 年 月 日

和歌山県知事 様

所在地  
名 称  
代表者

印

南別館分館（仮称）アスベスト含有調査業務実績報告書

令和 年 月 日付けで契約を締結した南別館分館（仮称）アスベスト含有調査業務について、下記のとおり調査が完了したので、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 業務場所 南別館分館（仮称）（和歌山県和歌山市湊通丁北1丁目1番4）
- 2 実施業務  アスベスト含有分析業務（定性分析）  
 アスベスト含有分析業務（定量分析）
- 3 分析結果（下記項目について各建物毎に作成して添付すること）  
アスベスト含有分析  
（定性分析） 検出 有・無  〈アスベストの種類〉   
（定量分析） 重量比  %
- 4 アスベスト含有分析業務実施者  
所属  
氏名
- 5 添付書類（3部作成すること。）  
定性分析結果報告書（アスベストの種類を記載）  
定量分析を行った場合、定量分析結果報告書（アスベスト含有率を記載）